



## 宇宙分野で培った技術で他事業へ挑戦

2018年4月に三菱スペース・ソフトウェア株式会社代表取締役社長に就任しました蒲地安則です。弊社は、1962年に三菱グループと米国TRW社との合弁会社である三菱テール・ダブリュ株式会社として設立され、半導体やプロセスコントロールの仕事からスタートしております。

その後合弁事業は終了し、現在では三菱グループを中心とした宇宙、防衛、通信、車載、航空事業分野、並びに国の研究機関や公共機関を中心とした防災・環境、ライフサイエンス、公共・IT、情報セキュリティ分野に事業を拡げております。

創業当初より弊社が最も長く携わってきた基幹事業が「宇宙システム事業」です。現在に至るまでロケットの航法誘導制御、科学技術衛星、通信・放送・気象・観測・測位用の実用衛星及び輸送機（HTV）の管制・誘導などに携わってきております。

地上のシステムと比較して宇宙分野の特徴は大きく二つあります。

一つ目は、現場で調整ができない（軌道上で調整ができない）ことです。ロケットも衛星も打上げ後、想定通りの動作をしない場合には短時間で致命的な結果に繋がります。このために設計、製造の正確性を証明するべく、様々なフェーズで多くの解析、試験を実施します。ソフトウェアの分野では不具合を内在させないための開発プロセスによる製造、ハードウェアの世界では故障率を低減させるための部品開発とスクリーニングによる選定

と適度な冗長性を持たせます。また、システム全体においては不具合が起きて機能・性能を極力維持するロバストなシステムを構築します。

二つ目は、現場と同じ環境で開発ができないことです。これに対し打上げ後の大気中や宇宙空間での環境やインターフェースを地上でソフトウェアやハードウェアにより模擬し、多くの種類の試験を実施することで宇宙空間という現場に初めて設置された機器を電源投入と同時に何の不具合もなく動作させます。これが弊社が有する高品質・高信頼の技術です。この技術をベースにお客様のシステム要求及び課題を理解し、ソフトウェアの仕様作り、製造、解析、模擬、試験を行い、高信頼のシステムを構築してきました。宇宙で培った技術に基づき防衛、通信、航空、防災・環境、ライフサイエンス、車載、公共・IT、情報セキュリティへと事業分野を拡大しております。

弊社の企業ビジョンである『Make a Smart Society』は、様々な分野に進出し、宇宙から生命までの幅広いフィールドを通して、地球に生きるすべての人たちが安心して快適に暮らしてゆける社会を創ろう、ということの意味しております。これからも現在の9つの事業分野を含め様々な事業活動を通して社会、顧客、株主、社員、取引先に信頼される会社づくりに努めてゆきたいと考えております。引き続き弊社の事業活動に一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。